

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 再使用可能な気管内チューブスタイレット 35402000

スタイレット

【警告】

本品の操作は、慎重に行うこと【患者の器官損傷及びチューブ損傷のリスクが高くなる】。

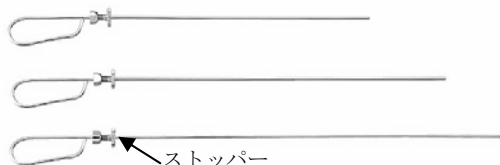
**【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

1. 気管内チューブが正しい位置に留置されたことを確認するまで本品を引き抜かないこと。また、本品の再挿入は行わないこと【本品の再挿入は、チューブを破損させ、気管等を損傷させるおそれがある】。
2. 本品に必要以上の力を加えないこと【本品が折損し、気管内チューブを破損させるおそれがあるため】。
3. 経鼻挿管には使用しないこと。

**【形状・構造及び原理等】

1. 形状
シャフト長の違いにより大、中、小の3種がある。



2. 原材料
ステンレス鋼
3. 原理
スタイレットを気管チューブに挿入することにより、柔らかいチューブを安定させ、容易に気管に挿入することができる。

【使用目的又は効果】

気管内チューブを安定させ、声帯の通過を容易にするために用いる器具をいう。通常、軟性金属製である。挿管前に気管内チューブに挿入する。

【使用方法等】

1. 使用方法
 - 1) 使用前に、洗浄・消毒、必要に応じて滅菌する。
 - 2) 本品をあらかじめ曲げる。
 - 3) 先端が気管チューブより先に出ないように長さを調節する。
 - 4) ストッパーの位置を固定し、気管チューブに挿入する。
 - 5) 挿管完了後に抜去する。
2. 使用方法に関連する使用上の注意
本品の操作は慎重に行い、抵抗等により抜去できない場合はチューブと一緒に抜去すること【無理に引き抜いた場合、チューブが損傷するおそれがある】。

**【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
本品をクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者、又はその疑いのある患者に使用した場合は、クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)に関する国内規制及びガイドライン等を遵守すること。
2. その他の注意
 - 1) 本品を曲げる場合は、シャフトに指先を添えて親指で押し下げるようにゆっくりと曲げること
 - 2) 曲がりに戻す場合は、シャフトの曲がりを上向きにして持ち、指先をしっかりと添えて、曲げるとき同様、親指でゆっくりと押し下げるようにして戻すこと
 - 3) 曲げ伸ばしを繰り返すと、金属疲労により折損を起すことがある
 - 4) 使用前に、ストッパーが任意の位置で固定できることを必ず確認すること。
 - 5) チューブ外で曲げ伸ばしを行い、曲げ伸ばし時に硬く感じる場合は使用しないこと。

**【保管方法及び有効期間等】

耐用期間
使用限度 30回【自己認証(当社データ)による】

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄・消毒、滅菌
 - 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は、抜去後直ちに洗浄し消毒する。
 - 2) 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱方法を守る。中性洗剤を推奨する。
 - 3) 超音波洗浄装置・ウォッシャー・ディスインフェクター等の洗浄装置で洗浄する場合、汚れが落ちやすい状態でバスケット等に収納して処理する。
 - 4) 金属タワシ、クレンザー(磨き粉)等は、器具表面を損傷するので使用を避ける。
 - 5) 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・濾過水等の使用を推奨する。
 - 6) 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥する。
 - 7) 滅菌が必要な場合は、134℃/5分の高圧蒸気滅菌条件を推奨する。
2. 点検
 - 1) 滅菌前、使用前に汚れ・破損等を点検する。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 村中医療器具株式会社

TEL 0725-53-5546

<http://www.muranaka.co.jp/>

製造業者: ヒルブロ インストルメンツ社 パキスタン
Hilbro Instruments (Pvt) Ltd.